



《《高速道路等の整備により移動や搬送時間を短縮》》

平成17年度の代表的な取組みとその成果

- Plan** ネットワークを早期形成するため、高速道路等の整備を引き続き進めます
- Do** ■三陸自動車道の工事を推進
県北東部から仙台・石巻方面を短時間で結ぶため、三陸自動車道を延伸する工事を順調に進めています。

平成17年度評価

■高速サービスに地域格差が存在 ~救急医療を例に~
県内には三次医療施設への所要時間が1時間を超える地域が存在しています。工事は鋭意推進していますが開通まで時間を要しており、早期の延伸が求められています。

1時間カバー圏域に含まれない地域が存在

※初期、二次、三次救急医療について知りたい方は <http://www.pref.miyagi.jp/iryuu/group7.htm>
注)心疾患等の重篤疾患の場合、搬送に要する時間は1時間以内にとどめることが必要とされている。

▲第三次救急医療施設からの60分圏域(平成17年度末)

平成18年度に開通する河北IC以北の整備状況

至桃生豊里IC
河北IC
至仙台

Action 高速道路等の早期延伸のために必要な対策を検討します

平成18年度の代表的な取組み

Plan 三陸自動車道(河北IC~桃生津山IC)の開通を目指します

桃生津山ICを追加設置することにより、平成18年度内の開通区間延長をより長くします。

救急車退出路の整備

石巻赤十字病院移転

2車線開通済(暫定)

H18 2車線開通(暫定) L=11.6km

H19 2車線開通(暫定) L=9.6km

対策により新たに開通を見込む区間

注)石巻赤十字病院は、平成18年度内に三次医療施設とはならないが、三陸自動車道の延伸、救急車退出路の整備により、救急医療施設へのアクセス機能が向上される。

採点を お願いします!

◆上記のような高速道路の整備への採点

A 十分整備されている B どちらともいえない C どちらともいえない D もっと進めるべき E もっと進めるべき

A~Eを選択してください

はがき問4 ①欄へ

採点

《《既存の高速道路をもっと便利に》》

平成17年度の代表的な取組みとその成果

- Plan** スマートICやETCゲートの設置により、より使いやすい高速道路にします

Do ■長者原SA スマートIC設置を継続

長者原SAスマートIC
平成16年12月より実験開始

■三陸自動車道にETCゲートを設置
これまで三陸自動車道(利府中~鳴瀬奥松島間)はETCゲートがありませんでしたが、この間の5箇所のICにETCゲートを設置し、利便性を向上させました。

■三陸自動車道でETC利用率が増加

▲三陸自動車道IC平均ETC利用状況

IC	ETC利用台数(台/日)	ETC利用率(%)
H16	331	9
H17	904	24

増加

Check ■規格の高い道路*を使う割合は依然低く一般道路に渋滞が発生

宮城県の規格の高い道路を使う割合は、全国平均に比べ低い水準にあり、一般道路に負担がかかっています。ETCゲートやスマートICの設置による利用促進効果は確認されましたが、高速道路をより使いやすい工夫が求められています。

▲渋滞損失時間と規格の高い道路を使う割合(平成17年度)
※規格の高い道路:高速道路、自動車専用道路等の総称

項目	宮城県	全国
年間一人当たり渋滞損失時間(時間/年)	12.3	14.0
規格の高い道路を使う割合(%)	31	30

全国平均より多く渋滞が発生

Action 高速道路の利用促進のために更に必要な対策を検討します

平成18年度の代表的な取組み

Plan 長者原SA スマートIC 社会実験を延長
泉PA でスマートIC 社会実験を開始

泉パークタウンなどから高速道路利用が便利

●実験期間
平成18年4月26日~平成19年3月31日(予定)

●利用時間
午前6:00~午後10:00

●対象車両
ETC搭載車(けん引車、自動二輪は除く)

■三陸自動車道に石巻赤十字病院に直結する救急車退出路を整備
石巻河南ICを利用するのに比べ3分短縮可能に

救急車退出路

採点を お願いします!

◆上記のような高速道路の利用を促進する施策への採点

A 十分利用しやすい B どちらともいえない C どちらともいえない D もっと使いやすいべき E もっと使いやすいべき

A~Eを選択してください

はがき問4 ②欄へ

採点